

## 第29回高分子分析討論会 (高分子の分析及びキャラクターゼーション) —参加募集—

主催 (公社)日本分析化学会高分子分析研究懇談会

協賛 (公社)日本化学会, (公社)高分子学会ほか

期日 2024年10月31日(木)・11月1日(金)

会場 愛知県産業労働センター「ウイंकあいち」〔愛知県名古屋市中村区名駅4-4-38, 交通:JR「名古屋」駅桜通口徒歩5分〕

<https://www.winc-aichi.jp/>

**主題** 高分子分析・特性解析全般に関する討論です。高分子分析は物性発現機構を解明し、構造設計の指針を得る基盤であり、その重要性への認識は高まっています。高分子分析・キャラクターゼーションを対象とした本討論会の内容は、化学的手法、分光学的手法、各種クロマトグラフ法、熱分析法などによる組成、分子構造、高次構造、構造と物性の相関、物性発現機構、重合機構などの解析に関する基本原理、手法開発、解析実例などに及びます。

**内容** 一般参加者によるポスター講演(2分半の概要説明)とポスター発表に加えて、協賛企業によるテクニカルレビュー、および2件の特別講演を予定しております。

### 討論会プログラム

第1日(10月31日)

開会挨拶(9.35~9.45)

ポスター講演Ⅰ(9.45~11.00)

テクニカルレビューⅠ(企業講演Ⅰ 11.00~11.10)

ポスター発表Ⅰ(11.20~12.45)

休憩

特別講演Ⅰ(13.40~14.40)

「プラスチック資源循環の価値」

吉岡敏明先生(東北大院)

ポスター講演Ⅱ(14.40~15.55)

テクニカルレビューⅡ(企業講演Ⅱ 15.55~16.05)

ポスター発表Ⅱ(16.15~17.40)

懇親会、ポスター賞授与(18.00~20.00)

第2日(11月1日)

ポスター講演Ⅲ(9.00~10.15)

ポスター発表Ⅲ(10.25~11.50)

休憩

ポスター講演Ⅳ(12.50~14.05)

ポスター発表Ⅳ(14.15~15.40)

特別講演Ⅱ(15.55~16.55)

「自動車用高分子材料の分析—真因究明のアプローチ方法—」

須藤栄一先生(豊田中央研究所)

ポスター賞授与、閉会挨拶(16.55~17.15)

### 参加費(税込)

事前登録(10月11日まで):一般10,000円, 学生2,000円

通常登録(10月12日~30日):一般14,000円, 学生3,000円

懇親会(10月30日まで):4,000円

**参加登録方法** 参加希望者は参加登録を高分子分析研究懇談会ホームページからお申し込みください。10月30日(水)までに申し込み・参加費振込がない場合は参加できませんのでご注意ください。なお、入金された費用については参加の有無に関わらず返金できませんので、ご了承ください。

**振込口座** りそな銀行五反田支店(普通)1330829

(公社)日本分析化学会高分子分析討論会

**申込先** 高分子分析研究懇談会ホームページ

<https://pacd.jp/>

**問合先** 〒572-8530 大阪府寝屋川市初町18-8 大阪電気通信大学工学部 基礎理工学科 森田成昭

[電話:072-824-1131(呼), E-mail: pacd-touron@pacd.jp]

本学会ホームページ左側メニュー「本学会に関するお問い合わせ」より「高分子分析討論会」を選択してご質問をお送りください

### ポスター講演および発表Ⅰ

I-01 コンパウンド中ファイラー表面分析のためのエーテル分解法の検討(○積水化学工業)○新井祥人

I-02 時間分解顕微赤外ATR分光法を用いた膜表面の脱水時の水和構造解析(○旭化成, 阪電通大工)○波照間さやか, 坂部輝御, 森田成昭

I-03 GC-TOFMSスペクトルに対する機械学習を用いた構造解析手法の改良(○日本電子)○久保 歩, 生方正章, 窪田 梓, 長友健治

I-04 炭素繊維強化プラスチック加工工場屋内空気中マイクロプラスチックの反応熱分解GC/MSによる定量分析(○フロンティア・ラボ, 国環研, 東北大)○塩野 愛, 藤谷雄二, 渡辺 壱, 寺前紀夫, 渡辺忠一

I-05 サブミクロンスケール赤外分析装置による機能性材料の定性分析の応用(○日本サーマル・コンサルティング)○小林華栄, 馬殿直樹, 清水夕美子

I-06 ピークフィッティング処理を用いたSEC/SALDI-MSによる分子量分布評価(○京セラ, 日本ウォーターズ)○廣嶋孝治, 山田光一郎, 中西将太

I-07 MSとFIDの同時検出法を用いるポリマー中有害揮発性成分の熱脱着GC分析(○フロンティア・ラボ, 東北大, 中部大)○肖開提パリザ, 松枝真依, 渡辺 壱, 熊谷将吾, 寺前紀夫, 石田康行, 渡辺忠一

I-08 GC/APCI-QToFMSを用いた難燃性骨格の構造解析法の開発(○日本ウォーターズ)○江崎達哉, 倉橋聡実

I-09 高分解能質量分析計を活用した高分子材料分析における劣化解析~Py-GC/APGC, UPLC/ESI, DESIのトリプليون源の応用~(○日本ウォーターズ)○倉橋聡実, 江崎達哉

I-10 誘電泳動デバイスにより捕集したナノプラスチックのPy-GC/MSによる定量分析の検討(○名工大院工)○定月友里, 飯國良規, 北川慎也

I-11 ビロリドン環を側鎖に有するビニルポリマーが水和する過程の赤外分光と計算化学(○阪電通大院工, 同志社大理工, 九大先導研, 阪電通大工)○菊田翔音, 西村慎之介, 田中 賢, 森田成昭

I-12 DOSY法による電解質高分子量体の分子量決定法の確立(○東洋合成工業)○宮内菜々美, 八角 優, 小林宣章, 榎本智至

I-13 下地に含まれる材料の識別法の確立(○明大院理工, 明大理工)○梶本祐大, 本多貴之

I-14 複合劣化促進解析システムの開発と塗膜の劣化評価(○島津製作所, 大日本塗料, 島津テクノリサーチ)○長谷川雪憲, 北村顕一, 末次晴美, 松田恵介, 小田竜太郎

I-15 スプレー塗料の製品識別における直接導入質量分析の有効性評価(○神奈川県警科捜研, 明大理工)○居郷孝泰, 田代 徹, 西部浩一郎, 阪柳正隆, 本多貴之

I-16 金漆の原料とされる樹液から作成した塗膜の物性調査(○明大院理工, 明大理工)○鈴木彩夏, 本多貴之

I-17 リサイクルプラスチックから発生する揮発性有機化合物の解析(○LECO ジャパン)○樺島文恵, 櫻井昌文, エストレヤ レイジェル

I-18 アンビエントイオン化MS法における各種プラスチックの熱分解パターン特性~温度及び時間の影響~(○パイオクロマト)○山下 藍, 西口隆夫, 志田保夫, 島田治男

I-19 レオメーターを用いたエポキシ樹脂の硬化挙動測定と反応時間予測モデルの作成(○DIC)○岡 卓哉, 石

- 山正登, 仲村仁浩
- I-20 転写プレートを用いた塗布皮膜の表面分析 (○浜松ホトニクス, コーセー) ○池田貴将, 菅 駿一, 小谷政弘
- I-21  $^{19}\text{F}$  NMR によるフッ素系ポリマーの状態分析と定量 (○DIC) ○森 大樹, 小池 竜, 武野真也, 松尾真俊, 雨宮晶子, 笠井 晃
- I-22 市販 GC-MS 用アタッチメントとしての DIP-1A イオン源ユニットの試作開発 (○精工試, 横浜国大院環境情報, 産総研) ○三島有二, 斎藤元明, 藤井麻樹子, 津越敬寿
- I-23 ヘリウム節約機能を用いた熱分解 GC/MS の実用例と期待されるヘリウムの節約量 (○サーモフィッシャーサイエンティフィック) ○秦 一博, 山本五秋
- I-24 合成重水素化合物を内部標準に用いた電界脱離質量分析法 (FD-MS) による洗剤中糖アルコールの定量分析 (○中部大応生, アイセロ) ○前出智貴, 加藤ほの夏, 深川匠臣, 堤内 要
- I-25 ナノ赤外分光法による第二世代アクリル接着剤/アルミニウム界面の組成解析と接着発現機構の解明 (○豊田中央研究所) ○加藤雄一, 中井恭子, 菅沼義勇, 高谷恭弘, 天野久美, 光岡拓哉, 安孫子勝寿
- I-26 セルロース系ポリマーの劣化解析 3 -紫外線照射の影響- (○神奈川大理, 神奈川大総研) ○阿久津芳顕, 古垣 将, 大石不二夫, 西本右子
- I-27 Py-APGC-MS 及び MALDI-MS によるポリブタジエンとシランカップリング剤の反応解析 (○名工大理工, 住友ゴム工業) ○中植巧麻, 飯國良規, 北川慎也, 吉谷美緒, 海野祐馬, 堀江美記, 北浦健大
- I-28 超臨界流体クロマトグラフィーを用いた高分子物性評価法の開発 (○日産化学) ○松原功達
- I-29 水酸化テトラメチルアンモニウムを用いる反応熱分解 GC/MS による大気中の微量 PET の定量 (○徳島大学院理工, 徳島大薬, 東北大, フロンティア・ラボ) ○竹田大登, 苗村真依, Khalila Majied Rachmasrori, 竹内政樹, 木下京輔, 前川大河, 小川智也, 高柳俊夫, 寺前紀夫, William Pipkin, 渡辺 壱, 渡辺忠一, 水口仁志
- I-30 マイクロマンユピレーターを用いた塗膜中の微小成分の分離分析技術 (○関西ペイント) ○山下浩平
- ポスター講演および発表 II**
- II-01 MALDI-TOFMS による末端変成ポリオールの詳細組成解析と誘導体化  $^{19}\text{F}$ -NMR による反応率評価 (○AGC) ○石塚 圭, 井上真悠
- II-02 スプリットレス熱分解 GC/MS による縮合系高分子材料の極微量分析 (○東レリサーチセンター) ○三浦朋康, 田口嘉彦, 秋山 毅, 日下田成, 松田景子
- II-03 ブランクチューブ-FI 法と GC-EI/FI 法を組み合わせた熱分解オイルの迅速分析 (○日本電子) ○福留隆夫, 佐藤貴弥, 生方正章
- II-04 熱分解 GC/MS による微量マイクロプラスチック定量分析時の検量線の直線性低下とその改善 (○フロンティア・ラボ, 東北大, 中部大) ○石村敬久, 渡辺 壱, 寺前紀夫, 石田康行, 渡辺忠一
- II-05 2次元液体クロマトグラフィー質量分析法 (2D-LC/MS) を用いたリサイクルポリマー中の微量成分の分析 (○東レリサーチセンター) ○上松あずさ, 小野田資, 塩路浩隆
- II-06 熱分解質量スペクトルの標品フリー定量解析を基点としたポリマーシーケンサーの開発 (物質・材料研究機構) ○日比裕理
- II-07 デコンボリューション法を用いた O-PTIR イメージングの高解像度化 (○京セラ) ○浅野伸哉, 中西将太, 関広美
- II-08 走査電子顕微鏡像 (SEM) とラマン分光器を用いた高分子材料の相関分析 (○日本電子, オックスフォード・インストゥルメンツ) ○作田裕介, 中山智香子, 村田泰斗, 高鍋彰文
- II-09 PEDOT:PSS [ポリ (4-スチレンスルホン酸) をドーブしたポリ (3,4-エチレンジオキシチオフェン)] の吸放湿に伴う親水ドメインの構造調査 (○アイシン, 豊田中央研究所) ○山本修也, 木村かおり, 森隆行, 田端友紀, 原田雅史
- II-10 SEC の異常溶出挙動の解明と制御 (○山形大工, 山形大院有機) ○菊地守也, 川口正剛
- II-11 MS/MS 法を用いたポリマーの熱分解生成物の異性体識別と末端基の構造解析 (○日本電子) ○橋本将宏, 岩淵晴男, 生方正章
- II-12 PMEA にアルコール系水溶液を気相で吸着させたときの時間依存赤外分光 (○阪電通大工) ○知念優太, 森田成昭
- II-13 パーフルオロスルホン酸アイオノマーの分子量測定における SEC-MALS 法の利用の検討 (○FC-Cubic) ○福田夏生, 山口 真
- II-14 OAD-TOF システムによる高分子添加剤の構造解析 (○島津製作所) ○服部考成, 飯田哲生, 朝野夏世, 高橋秀典
- II-15 LC-TOF-MS と KMD 解析を組み合わせた界面活性剤スクリーニング分析法の提案 (○日本ウォーターズ) ○山田光一郎, 新堂幸子, 一木満貴子, 江崎達哉
- II-16 エステル系ポリウレタンの熱劣化挙動の解明 (○コマツ, 名工大) ○馬 上生, 秋元治人, 佐々木喜代治, 加藤貴則, 北川慎也
- II-17 溶媒としてイオン液体を用いたセルロースエステルの合成と分子特性解析 (○工学院大) ○川井忠智
- II-18 毛髪の水分及び VOC 吸脱着特性に対する処理の影響 (○神奈川大理, ウテナ) ○柚木勇人, 黒田美優, 影島一己, 西本右子
- II-19 ポリブチレンテレフタレート (PBT) 酸末端基の定量と赤外分光法による予測 (○住友電気工業) ○土子 哲
- II-20 採取地域の異なる漆液に含まれるタンパク質の比較 (○明大院理工, 明大理工) ○篠原歩海, 本多貴之
- II-21 ポリスクシンイミドの末端・分岐構造解析 (○DIC) ○宮崎 彩, 小池 竜, 武野真也, 高澤啓二, 植野上博之
- II-22 合成高分子 ESI 質量スペクトルのデコンボリューションについての検討 (○ブルカー・ジャパン) ○工藤寿治, 弓削汐里
- II-23 分光学的手法を用いた紫外線による子ども毛の毛髪表面変性解析 (○クラシエ, 阪電通大工) ○布施直也, 森田成昭
- II-24 固体 NMR によるウレタン樹脂と水との相互作用解析 (○DIC) ○松尾真俊, 雨宮晶子, 草野大輔
- II-25 AFM-IR による樹脂の局所構造解析 (○産総研機能化学) ○藤田康彦
- II-26 CNSL 由来光硬化型樹脂塗料の合成と塗膜物性評価 (○明大院理工, 明大理工) ○谷 凜太, 本多貴之
- II-27 ポリカーボネート樹脂の化学構造変化による劣化評価方法と, 負荷環境における挙動把握への適用可能性検討 (○広島県総研) ○小島洋治, 菅坂義和, 宗綱洋人
- II-28 EI および NCI の高分解能 GC/TOFMS 法と LC/ESI-MS/MS 法による塩素化パラフィン分析の比較検討 (○アジレント・テクノロジー, 産総研) ○加賀美智史, 高桑裕史, 笠松隆志, 滝埜昌彦, 羽成修康
- II-29 PP コンパウンドの組成分布解析と物性・モルフォロジーとの関係 (○三井化学分析センター) ○大平亜美梨, 山本寿美江, 山之上巧
- II-30 クライオ技法を用いたインク材料の電子顕微鏡観察

(○日本電子) ○中山智香子, 細木直樹, 松島英輝

### ポスター講演および発表 III

- III-01 樹脂エマルション中の乳化剤の状態解析 (○DIC)  
○山口潤也, 鈴木淳平, 矢野喜男, 堀田康伸, 尾形美澄,  
雨宮晶子, 草野大輔
- III-02 熱分解 GC/MS 分析のための水中マイクロプラス  
チックの捕集装置の開発と評価 (○フロンティア・ラボ,  
東北大, 中部大) ○安達甲志, 渡辺 壺, 斎藤 豪, 進藤  
章, 寺前紀夫, 石田康行, 渡辺忠一
- III-03 ソリッドネブライザー ICP-MS を用いた材料分析  
(○日東分析センター) ○井ノ口章, 内海優也
- III-04 質量分析学的手法によるバイオマス変換触媒上の析  
出炭素種の構造解析 (○千代田化工, 都立大) ○金井隆  
一, 前田幸子, 渡部和也, 角 茂, 三浦大樹, 穴戸哲也
- III-05 PTFE 分子はぐしと分子集合再生 (○東工大理学院,  
京大化研, 東北大多元研) ○火原彰秀, Li Yao, 西村祥吾,  
仙波祐太, 大貫友椰, 長谷川健, 加納純也
- III-06 GC 系ユニバーサル検出器による不純物の定量法検  
討 (○DIC アドバンストリサーチセンター分析 3G) ○加  
藤正澄, 鈴木真也
- III-07 熱分解 GC 分析における中沸点領域の異常ピーク形  
状の原因解明とその対策 (○フロンティア・ラボ, 東北  
大, ピコデバイス, 中部大) ○肖開提パリザ, 渡辺 壺,  
津田孝雄, 石田康行, 寺前紀夫, 渡辺忠一
- III-08 紫外線加速劣化試験による太陽電池封止材の劣化挙  
動 (○東北大環境) ○柳澤匠, 熊谷将吾, 齋藤優子, 白  
鳥寿一, 吉岡敏明
- III-09 立体規則性のわずかな乱れがポリ乳酸鎖の拡がりに  
及ぼす効果 (○山形大工, クレハ, 山形大院有機) ○柳下  
真寛, 菊地守也, 植田佳世, 鈴木義紀, 渡邊隆宏, 川口正  
剛
- III-10 セルロースナノファイバー (CNF) 含有塗漆膜の物  
性評価 (○明大院理工, 明大理工) ○下山哲史, 本多貴之
- III-11 プラスチックを長寿命利用するための質量分析技術  
(○名古屋市工研) 大和直樹, 山中基資, 丹羽 淳, 岡本和明,  
林 朋子, ○林 英樹, 大岡千洋, 山口浩一
- III-12 UV 接着剤の酸素阻害による化学構造の変化と物性  
評価 (○豊田中央研究所) ○山田祐也, 青木良文, 光岡拓  
哉, 安孫子勝寿
- III-13 溶媒抽出法による PPS 樹脂の末端構造に関する研  
究 (○クレハ中央研究所) ○小坂信行, 若松明子, 佐藤  
剛, 細田友則
- III-14 マイクロ臨界分解法を用いた極微量ポリウレタン  
の定性・定量分析 (○東レリサーチセンター) ○小川美由  
紀, 田口嘉彦, 秋山 毅, 森脇博文, 日下田成, 松田景子
- III-15 硫黄系シランカップリング剤詳細構造の分析手法検  
討 (○住友ゴム工業, 産総研機能化学) ○吉谷美緒, 海野  
祐馬, 堀江美記, 北浦健大, 岸本浩通, 渡邊亮太, 中村清  
香, 佐藤浩昭
- III-16 PEG を含有するメチルセルロースヒドロゲルのゲ  
ル化過程及び水の状態に対するメチルセルロースの分子量  
の影響 (○神奈川大理) ○古垣 将, 西本右子
- III-17 文化財保存修復に用いられる合成樹脂の加熱による  
化学構造変化の分析 (○明大院理工, 明大理工) ○望月香  
里, 本多貴之
- III-18 逆相 LC で分取したポリマーの高分解能 MALDI-  
TOFMS 測定と KMD 解析の検討 (○日本電子) ○渡邊直  
美, 佐藤貴弥, 橋本将宏
- III-19 SEC-熱分解 GC/MS 測定用アタッチメントを用い  
たポリマーの分取に関する検討 (○東ソー分析センター,  
日本電子, エス・ティ・ジャパン) ○生田久美子, 松渕優  
子, 平井貴康, 香川信之, 佐藤崇文, 佐藤貴弥, 小林恒夫

- III-20 顕微ラマン分光法を用いた結晶性高分子の劣化過程  
で生じる高次構造変化の解析 (○滋賀県立大学, 滋賀県東  
北部工業技術センター) ○木田拓充, 竹下宏樹, 徳満勝  
久, 永濱毅紘, 上田中隆志
- III-21 EGA-FI-TOFMS と主成分分析を組み合わせたポリ  
カーボネートの末端構造解析 (○産総研, 名古屋大) ○中  
村清香, 佐藤浩昭, 石田崇人, 萩原英昭, 新澤英之, 渡邊  
亮太
- III-22 幅広い分子量の熱分解生成物の包括的な測定手法の  
開発と ABS 樹脂の構造解析への応用 (○名工大院工, 名  
工大) ○山本広大, 伊藤 宏, 飯國良規, 大谷 肇, 北川  
慎也
- III-23 DART-MS を使用した高速なクリーンチェック手法  
の検討 (○ブルカー ジャパン, Bruker Applied Mass  
Spectrometry) ○弓削汐里, William L. Fatigante, Kevin  
Stup
- III-24 フィルムの片面発生ガス評価法の検討 (○東レリ  
サーチセンター) ○大橋晃子, 塩路浩隆, 松田景子
- III-25 IR, 質量分析, NMR を併用した多角的な樹脂材料  
評価手法の開発 (○クリアライズ分析試験部) ○高星圭  
吾, 鈴木哲也, 浅野 望, 伊藤浩平
- III-26 HS-SPME/GC/MS を用いた木材用塗膜の成分差異  
解析 (○大日本塗料研究部研究第一グループ) ○末次晴  
美, 田邊祥子
- III-27 複数の化学分析データの統合解析によるリサイクル  
樹脂の用途判定 (○産総研機能化学) ○花岡寿明, 辻 有  
子, 藤本真司, 伊藤祥太郎, 渡邊宏臣, 萩原英昭, 佐藤浩  
昭
- III-28 TG-TOFMS, 主成分分析, KMD プロットを融合し  
た繊維強化ポリプロピレンの劣化解析法の構築 (○産総研  
機能化学) ○小澤大樹, 中村清香, 佐藤浩昭, 新澤英之,  
萩原英昭, 渡邊亮太
- III-29 GPEC 溶出挙動に与える溶媒の極性の影響 (○アジ  
レント・テクノロジー) ○野上知花, 内藤厚子, 澤田浩和
- III-30 リサイクルポリプロピレンにおける混入樹脂の物性  
への影響とモルフォロジー観察 (○矢崎総業, 産総研機能  
化学) ○稲葉達郎, 海野 俊, 北田幸男, 藤田康彦

### ポスター講演および発表 IV

- IV-01 塩化セシウム密度勾配遠心法によるインク中分散樹  
脂の分離分析 (○DIC) ○福永義樹, 打矢裕己
- IV-02 熱分解 GC-TOFMS のためのインシリコ EI マススペ  
クトラライブラリーの構築 (○日本電子) ○久保 歩,  
生方正章, 窪田 梓, 長友健治
- IV-03 熱分解 GC/MS による環境水中の微量マイクロプラ  
スチック分析のための新規前処理法の開発 (○フロンティ  
ア・ラボ, 東北大, 中部大) ○松枝真依, 肖開提パリザ,  
石村敬久, 渡辺 壺, 寺前紀夫, 石田康行, 渡辺忠一
- IV-04 異種接着材料の密着性発現機構解明 (○DIC アド  
バンストリサーチセンター分析 4 グループ) ○山本大將,  
堀田康伸, 草野大輔
- IV-05 海洋動物プランクトンに摂食されたマイクロプラス  
チックの熱分解 GC-MS による分析 (○名工大院工) ○水  
野貴斗, 北川慎也, 飯國良規, 大谷 肇
- IV-06 光イオン化質量分析法によるシロキサン配列解析と  
分子タグへの応用 (○産総研機能化学, 産総研触媒化学)  
○伊藤祥太郎, 松本和弘, 佐藤浩昭
- IV-07 FT-IR を用いた PEDOT:PSS [ポリ (4-スチレンスル  
ホン酸) をドーブしたポリ (3,4-エチレンジオキシチオ  
フェン)] の吸放湿挙動に関する研究 (○アイシン, 大阪  
電気通信大学) ○米沢吹雪, 山本修也, 木村かおり, 田端  
友紀, 加藤寛人, 森田成昭
- IV-08 ポリメタクリル酸メチルの立体規則性が分子鎖形態

- に及ぼす効果 (○山形大工, 龍谷大, 山形大院有機) ○鈴木悠太, 菊地守也, 岩佐至恩, 藤社一希, 河内岳大, 熊木治郎, 川口正剛
- IV-09 実験室とフィールドにおけるプラスチックの海洋生分解性の評価 (○化学物質評価研究機構, ○九大院統合新領域, 愛媛大院理工, 愛媛大南水研セ) ○田口浩然, 尾坂奈生, 日向博文, 武岡秀隆, 田中敬二, 菊地貴子
- IV-10 桐油と豚油を用いたモデル試料の科学分析 (○明大院理工, 明大理工) ○新井鉄平, 本多貴之
- IV-11 アルミニウムの表面状態がエポキシ接着剤との界面領域に及ぼす影響 (○豊田中央研究所) ○岩井美奈, 光岡拓哉, 安孫子勝寿
- IV-12 転写プレートを活用した質量分析イメージングによる高分子材料の劣化解析 (○東レリサーチセンター) ○田口嘉彦, 秋山 毅, 日下田成, 松田景子
- IV-13 熱抽出 GC-MS 法及び EI/SI 統合解析手法を用いたポリマー中添加剤成分の迅速分析 (○日本電子) ○加藤なな子, 橋本将宏, 窪田 梓, 生方正章
- IV-14 SEC と高精度 MALDI-TOFMS を組み合わせた多分散度の大きい合成高分子末端基解析と末端基変化可視化方法の検討 (○日本電子, 東ソー分析センター, エス・ティ・ジャパン) ○佐藤貴弥, 佐藤崇文, 生田久美子, 松測優子, 平井貴康, 香川信之, 小林恒夫
- IV-15 共焦点レーザー顕微鏡法を用いた毛髪上におけるポリマーブレンド製剤の相分離構造解析 (○花王解析科学研究所, 花王ヘアケア研究所) ○武藤智也, 前川智夏
- IV-16 Py-GC/MS を用いたテレフタル酸の気相誘導体化 (○東北大院環境, 東北大院工) ○山内涼太郎, 熊谷将吾, 齋藤優子, 吉岡敏明
- IV-17 転写プレートによるプラスチック表面の高質量分解能マスマイメージング (○日本電子, 浜松ホトニクス) ○佐藤崇文, 佐藤貴弥, 渡邊直美, 池田貴将
- IV-18 多機能パイロライザーによる UV 硬化材料の組成解析 (○アジレント・テクノロジー) ○穂坂明彦, 加賀美智史, 中村貞夫
- IV-19 ユーザーフレンドリーなインターフェースを備えたインフォマティクス用アプリ使った材料評価 (○産総研) ○新澤英之, 渡邊亮太, 小澤大樹, 中村清香, 萩原英昭, 佐藤浩昭
- IV-20 ジアクリレートとスチレンとのラジカル共重合で合成したゲルのエステル交換反応を利用した構造解析 (○徳島大院理工, 徳島大 AI 教育, 徳島大データ駆動研究クラスター) ○玉越麗奈, 西村仁志, 竹田大登, 川谷 諒, 鳥井浩平, 吉田 健, 山口仁志, 平野朋広
- IV-21 GC×GC-TOFMS/FID を用いたプラスチック由来の熱分解油の二重検出 (○LECO ジャパン) ○エストレイジェル, 樺島文恵, 桜井昌文
- IV-22 樹脂金属直接接合体における界面樹脂構造が接合強度に及ぼす影響 (○豊田中央研究所) ○米山弘亮, 岸田佳大, 天野久美, 山口 聡, 梅本和彦
- IV-23 無機有機ナノコンポジットコート剤によるポリカーボネートの劣化抑制メカニズムの解明 (○日東紡績, 産総研) ○中井康英, 照内洋子, 竹内 実, 長谷朝博, 大石晃広, 萩原英昭, 渡邊亮太
- IV-24 4 級化したポリ (2-ビニルピリジン) の分子パラメータの決定 (○京大院工) 山内桃葉, 帖佐智也, ○中村洋
- IV-25 水素結合による可逆架橋を有するエラストマーの Rheo-optics 解析 (○東大生研, 産総研) ○田島怜奈, 新澤英之, 中川慎太郎, 吉江尚子
- IV-26 低分子量化法を用いたゴム材料の質量分析法の開発 (○名工大院工) ○森 匠汰, 飯國良規, 大谷 肇, 北川慎也

- IV-27 フェノール性水酸基における保護反応の解析 (○DIC) ○油布智規, 長田裕仁, 小関裕美子, 戸田政明, 仲村仁浩
- IV-28 Evodiopanax innovans 樹液の光重合反応の解析 (○明大院理工, 明大理工) ○保戸塚俊希, 本多貴之
- IV-29 高分解能マスマスペクトルを活用したリサイクル樹脂中の混入成分スクリーニング技術 (○矢崎総業, 日本電子, 産総研機能化学) ○海野 俊, 北田幸男, 佐藤崇文, 佐藤貴弥, 佐藤浩昭
- IV-30 TOF-SIMS を用いたバイオセンサーの化学結合評価 (○京セラ) ○武井明美, 松田洋和, 金田恭介, 中西将太  
本プログラムは今現在の予定であり, 最終的に変更が生じる場合もあります。

## 第 37 回新潟地区部会研究発表会

—プログラム—

- 主催 (公社)日本分析化学会関東支部・新潟地区部会  
期日 2024 年 11 月 1 日 (金) 13 時から  
会場 新潟大学五十嵐キャンパス 物質生産棟 161 演習室 1F  
展示スペース [新潟市西区五十嵐二の町 8050, 電話: 025-262-7323]
- プログラム
- 13.00~13.05  
開会の辞 中川沙織 新潟地区部会長 (新潟地区部会長)  
支部長挨拶 四宮一総 関東支部長 (日本大学薬学部)
- 13.05~13.50  
特別講演 (座長 新潟地区部会長 中川沙織)  
交軸型向流クロマトグラフの製作とタンパク質・酵素分離への応用 (日本大学薬学部) ○四宮一総
- 14.00~14.45  
招待講演 (座長 新潟大学 韓 智海)  
生体中のコレステロール合成・吸収・代謝物の高感度定量法の開発と臨床応用 (新潟薬科大学医療技術学部) ○中川沙織
- 14.55~16.55  
ポスターセッション
- 17.05~17.35  
一般講演 (座長 新潟大学 則末和宏)
- 17.05~17.20  
講演 1 新潟県内における湧水調査への取り組み～環境貢献事業として～ (新潟県環境衛生研究所) ○田中教雄
- 17.20~17.35  
講演 2 新潟県における酸性雨モニタリング (湿性沈着) について (新潟県保健環境科学研究所) ○藤澤昌隆, 小竹佑佳, 小柴真樹
- 17.35~  
表彰式  
閉会挨拶 中川沙織 新潟地区部会長 (新潟薬科大学医療技術学部)
- 参加費 無料  
懇親会 社会情勢を踏まえたうえで判断・対応しますが, 現時点では発表会終了後に開催予定. 一般 5,000 円, 学生 3,000 円 (金額は目安で変更の可能性有. 参加希望者は当日受付でお申し込みください).
- 照会先 〒950-2181 新潟市西区五十嵐 2 の町 8050 新潟大学理学部 韓 智海 [電話: 025-262-7323, E-mail: jhhan@chem.sc.niigata-u.ac.jp]

## 2024年北海道地区化学教育研究協議会

**主催** 日本分析化学会北海道支部, 日本化学会北海道支部, 日本化学会教育・普及部門

**後援** 北海道教育委員会, 札幌市教育委員会, 北海道高等学校長協会, 北海道小学校理科研究会, 北海道中学校理科教育研究会, 北海道高等学校理科研究会, 北海道教育大学(依頼予定含む)

**会期** 2024年11月9日(土)

**会場** 北海道教育大学札幌駅前サテライト〔北海道札幌市中央区北5条西5丁目7 sapporo55 4階〕での対面形式およびZoomによるハイブリッド開催

**対象** 小学校から大学までの教員, 化学教育に関心のある大学(院)生

**内容**

**特別講演** 「これからの理科教育を考える—学習評価の在り方からの授業改善」(文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センター 研究開発部教育課程調査官・学力調査官(併)文部科学省初等中等教育局 教育課程課教科調査官) 真井克子氏

**提言** : 「理科(化学)教育における小・中・高・大学での取り組み」を4件ほど予定(提言20分, 質疑応答5分程度)

**自由討論** : 「小・中・高・大学での研究実践と課題に関する討論」(1時間程度)

**参加費** 無料

**懇親会費(希望者)** 4,000円(五修堂 札幌市中央区南1条東2丁目)

**参加申込方法** 電子メールかGoogleフォームで申し込みください。名簿作成の関係で10月25日(金)締切としますが, 協議会につきましては「当日参加」も可能です。

**Google フォーム**

<https://forms.gle/DmclJYxsZBgYzcvR8>

**参加申込締切** 10月25日(金)

**定員** 80名

**連絡先** 〒060-8628 北海道札幌市北区北13条西8丁目 北海道大学大学院工学研究院材料科学部門 坂入正敏  
〔電話: 011-706-7111, E-mail: msakairi@eng.hokudai.ac.jp〕

## 第60回フローインジェクション分析講演会

**主催** (公社)日本分析化学会フローインジェクション分析研究懇談会

**期日** 2024年11月13日(水)

**会場** 金沢工業大学扇が丘キャンパス6号館3階多目的ホール〔石川県野々市市扇が丘7-1〕

[https://www.kanazawa-it.ac.jp/about\\_kit/ogigaoka.html](https://www.kanazawa-it.ac.jp/about_kit/ogigaoka.html)

**内容** 液体流れを利用する分析法の基礎論と応用技術に関する研究発表と技術交流

**講演形式** 招待講演, 一般講演(口頭), 一般講演(ポスター), 製品・技術紹介(口頭)

**講演申込締切** 10月11日(金)

**参加予約締切** 10月23日(水) 情報交換会の予約も含む

**講演要旨締切** 10月16日(水) 必着

**講演・参加申込要領** いずれも講演会Webページ(<https://www3.jsac.jp/~jafia>)よりお申し込みください。なお, プログラムの編成上, 発表形式がご希望に添えない場合もありますので, ご了承ください。

**講演要旨執筆要領** A4版2ページ, 余白は上下30mm, 左右25mmとして作成してください。講演会Webページより要

旨のテンプレートをダウンロードすると便利です。講演題目はゴシック体14pt, 要旨本文は, 10.5pt以上のフォントで, 行間は1行(固定値として18pt)を目安としてください。発表者名(所属略称は( )にまとめ, 氏名にふりがな, 講演者に○印), 1行あけて本文をお書きください。

**製品・技術紹介** 1件30,000円(口頭発表, 機器・カタログ展示, 要旨集への広告掲載をすべて含む)。展示ブースの詳細はお問い合わせください。1件につき, 1名の参加費を免除。FIA研究懇談会の賛助会員および特別賛助会員の皆様には別途ご案内いたします。それら以外からの参加も歓迎いたしますので, 詳細については下記にお問い合わせください。

**情報交換会** 11月13日(水) 講演会終了後に開催。詳細はWebページにてお知らせします。

**講演会参加費**

- ① FIA研究懇談会会員, 日本分析化学会会員(一般・予約) 5,000円, (一般・当日登録) 6,000円
- ② 非会員(一般・予約及び当日登録とも) 6,000円
- ③ 学生(会員非会員とも・予約) 2,000円, (当日登録) 3,000円

**情報交換会参加費**

- ① 会員非会員とも(一般・予約) 7,000円, (一般・当日登録) 8,000円
  - ② (学生・予約当日登録とも) 3,000円
- 参加費は, 事前振り込みにてご協力をお願いします。振込先はWebページをご参照ください。

**問合先** 〒924-0838 石川県白山市八東穂3-1 金沢工業大学 バイオ・化学部応用化学科 鈴木保任〔電話: 076-274-8263, E-mail: y.suzuki@neptune.kanazawa-it.ac.jp〕

第388回ガスクロマトグラフィー研究懇談会  
特別講演会

「ガスクロマトグラフィー生誕70周年記念受賞講演  
Part II と持続可能な社会に貢献する  
ガスクロマトグラフィー」

**主催** (公社)日本分析化学会ガスクロマトグラフィー研究懇談会

**期日** 2024年11月27日(水)

**会場** 北とびあ 飛鳥ホール〔東京都北区王子1-11-1, 交通: JR京浜東北線「王子」駅徒歩5分〕  
(<https://www.hokutopia.jp/access/>)

詳細はガスクロマトグラフィー研究懇談会のホームページをご覧ください。

<http://www.jsac.or.jp/~gc/index.html>

## 第3回LCシニアクラブ参加者募集

**主催** LCシニアクラブ

**協賛** LC研究懇談会

**後援** 分析士会

LCシニアクラブ(LCSCL)は, (公社)日本分析化学会・LC研究懇談会のシニア役員を中核とし, LCやLC/MSをはじめ, さまざまな技術や手法の開発・改良, 技術を継承する人財の発掘・育成・組織化などのストラテジーを自由な発想に基づいて俯瞰的な立場から提案するための頭脳集団です。今回は, LC研究懇談会が主催するLC- & LC/MS-DAYS 2024にリンクし, その終了直後から同じ研修センターで第3回会合を開きます。参加資格は特にはありませんので, ご興味をお持ちの方は奮ってご参加ください。

## 日時

第1部：2024年11月29日（金）18時～20時

第2部～第4部：11月30日（土）10時～13時

会場 ①第1部～第3部：東レ総合研修センター〔静岡県三島市末広町21-9, 電話：055-980-0333, FAX：055-980-0350, 交通：JR「三島」駅北口下車から徒歩15分〕

<https://www.toray.co.jp/aboutus/network/headoffice.html#anc4>

②第4部：JR「三島」駅付近のレストラン

## プログラム

進行：現地世話人・竹澤正明（東レリサーチセンター）

第1部 情報交換会（11月29日，18.00～20.00）

1) 挨拶：LC シニアクラブ会長・中村 洋（東京理科大学・名誉教授）

2) 自己紹介と歓談：全参加者

第2部 2024年度総会（11月30日，9.30～10.10）

1) 報告事項（事業報告，新規入会者，等）

2) 承認事項（事業計画案，定款改定，役員と分担，等）

第3部 触発講演（10.15～11.15，座長：三上博久）

技術士のCPD（継続研鑽）活動について（LC シニアクラブ）西岡亮太

第4部 アルコール・ランチ放談会「LC 研究懇談会，分析士会，人材育成，ヒューマンネットワーク，新規事業，新技術開発など」（11.40～13.00）

参加費 20,000円（税込み10%）

参加申込方法 下記の申込先 URL から氏名・（元）所属，メールアドレス，電話番号，生年月日を記入してお申し込みください。

## 参加申込先

<https://forms.gle/Yq13UDgnaLQpCybu7>

銀行送金先 りそな銀行五反田支店（普通）0802349，口座名義：シヤ）ニホンブンセキカガクカイ〔（公社）日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会〕

申込締切 11月15日（金）入金締切時刻15時

問合せ先 E-mail：nakamura@jsac.or.jp

## 2024年度第3回近畿支部講演会

主催 （公社）日本分析化学会近畿支部・近畿分析技術研究懇談会

期日 2024年12月5日（木）15.00～17.00

会場 大阪科学技術センター7階701号室〔大阪市西区鞆本町1-8-4, 電話：06-6443-5324, 交通：地下鉄四つ橋線「本町」駅下車，北へ徒歩約7分，うつほ公園北詰〕

## 講演

1. 発色性クラウン化合物による金属イオン定量の試み（15.00～16.00）（和歌山大学）坂本英文

2. 「分析化学は塩みたいなものかな」と思いつつ過ごした薬学部での36年（16.00～17.00）（兵庫医科大学）前田初男

参加費 無料

参加申込 標記行事名を題記し，（1）氏名，（2）勤務先（所属），（3）連絡先を記入のうえ，下記申込先へFAXまたはE-mailにてお申し込みください。なお，参加証は発行いたしませんので，当日は直接会場にお越しください。

申込先 〒550-0004 大阪市西区鞆本町1-8-4（公社）日本分析化学会近畿支部〔電話：06-6441-5531, FAX：06-6443-6685, E-mail：mail@bunkin.org〕

※詳細は，近畿支部ホームページ

（<http://www.bunkin.org/>）にてご確認ください。

—以下の各件は本会が共催・協賛・後援等をする行事です—

◎詳細は主催者のホームページ等でご確認ください。

## プラズマ分光分析研究会第123回講演会

—環境の理解，保全，修復のための分光技術会—

主催 プラズマ分光分析研究会

期日 2024年10月25日（金）

会場 JMS アステールプラザ4階会議室およびオンラインホームページ <https://plasma-dg.jp/>

連絡先 プラズマ分光分析研究会事務局 梅村知也

〔電話：042-816-3001, E-mail：office@plasma-dg.jp〕

## 電気化学セミナー C（2024）

## 新しい電気化学産業への期待

～再生可能エネルギーの有効利用を目指して～

主催 （公社）電気化学会

期日 2024年11月6日（水）

会場 オンライン・オンラインハイブリッドセミナー

オンライン会場：東京理科大学神楽坂キャンパス1号館17階記念講堂

ホームページ

<https://www.electrochem.jp/seminar/>

連絡先 〒101-0065 東京都千代田区西神田3-1-6

日本弘道会ビル7階（公社）電気化学会事務局 原優美子

〔電話：03-3234-4213, E-mail：seminar@electrochem.jp〕

## 第14回イオン液体討論会

主催 イオン液体研究会

期日 2024年11月12日（火）～14日（木）

会場 郡山市中央公民館・勤労青少年ホーム

ホームページ

[https://www.ilra.jp/14th\\_jsil/index.html](https://www.ilra.jp/14th_jsil/index.html)

連絡先 第14回イオン液体討論会事務局

〔E-mail：14thmeeting@ilra.jp〕

## 実用表面分析セミナー 2024

主催 （公社）日本表面真空学会関西支部

期日 2024年11月13日（水）

会場 神戸大学百年記念館六甲ホール

ホームページ

[https://www.jvss.jp/chapter/kansai/kansai\\_jitsuyou25/](https://www.jvss.jp/chapter/kansai/kansai_jitsuyou25/)

連絡先 〒554-0022 大阪府大阪市此花区春日出中3-1-135

（株）住化分析センター（公社）日本表面真空学会関西支部

幹事 末広省吾

〔電話：06-6466-5377, E-mail：suehiro@scas.co.jp〕

## 生物発光化学発光研究会第39回学術講演会

主催 生物発光化学発光研究会  
 期日 2024年11月16日(土)  
 会場 慶應義塾大学矢上キャンパス  
 ホームページ <https://www.blcl-ja.com>  
 連絡先 〒223-8522 神奈川県横浜市港北区日吉3-14-1  
 慶應義塾大学理工学部 蛭田勇樹  
 [電話: 045-566-1568, E-mail: hiruta@aplc.keio.ac.jp]

## 第19回放射線プロセスシンポジウム

主催 放射線プロセスシンポジウム実行委員会  
 期日 2024年11月26日(火)・27日(水)  
 会場 東京大学弥生キャンパス 弥生講堂一条ホール  
 ホームページ  
<https://radsympo.wixsite.com/website>  
 連絡先 〒102-0082 東京都千代田区一番町23-2 番町ロイヤルコート207 (一社)ラドテック研究会内 放射線プロセスシンポジウム事務局 事務局長 木下 忍  
 [電話: 03-6261-2750, E-mail: sympo@radtechjapan.org]

(公社)日本分光学会  
第7回MAIRSワークショップ

主催 (公社)日本分光学会  
 期日 2024年11月29日(金)  
 会場 京都大学化学研究所  
 ホームページ <https://www.bunkou.or.jp/>  
 連絡先 〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄 京都大学化学研究所 長谷川 健  
 [電話: 0774-38-3070, E-mail: htakeshi@scl.kyoto-u.ac.jp]

日本腐植物質学会  
2024年度第40回講演会および総会

主催 日本腐植物質学会  
 期日 2024年11月30日(土)・12月1日(日)  
 会場 京都工芸繊維大学60周年記念館  
 ホームページ [https://www.research.kobe-u.ac.jp/ans-soil/jhss/meetings\\_info.html](https://www.research.kobe-u.ac.jp/ans-soil/jhss/meetings_info.html)  
 連絡先 〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町1-1 京都工芸繊維大学 環境計測学研究室 第40回講演会実行委員長 布施泰朗 [E-mail: jhss40@environ.kit.ac.jp]

## 第39回分析電子顕微鏡討論会

主催 日本顕微鏡学会分析電子顕微鏡分科会  
 期日 2024年12月5日(木)・6日(金)  
 会場 オンライン開催  
 ホームページ  
<https://sites.google.com/view/bunseki-touron-39/>  
 連絡先 〒060-8628 札幌市北区北13条西8丁目 北海道大学工学部内・マルチスケール機能集積研究室

(公社)日本顕微鏡学会 分析電子顕微鏡分科会 坂口紀史  
 [電話: 011-706-6768, E-mail: sakaguchi@eng.hokudai.ac.jp]

## 分離技術会年会2024

主催 分離技術会  
 期日 2024年12月19日(木)・20日(金)  
 会場 くにびきメッセ  
 ホームページ <https://mtg.sspej.org/>  
 連絡先 分離技術会事務局  
 [電話: 044-874-0337, E-mail: jimu@sspej.gr.jp]

International Symposium on Green Transformation  
Initiative and Innovative Zero-Carbon  
Energy Systems (GXI-ZES)

主催 東京工業大学科学技術創成研究院ゼロカーボンエネルギー研究所およびグリーントランスフォーメーションイニシアティブ (Tokyo Tech GXI)  
 期日 2025年1月14日(火)~16日(木)  
 会場 東京工業大学大岡山キャンパス  
 ホームページ <https://gxi-zes.org/>  
 連絡先 〒152-8550 東京都目黒区大岡山2-12-1 N1-31 東京工業大学科学技術創成研究院 ゼロカーボンエネルギー研究所 国際会議 GXI-ZES 事務局 教授 相楽 洋  
 [電話: 03-5734-3284, E-mail: gxi-zes@zc.iir.titech.ac.jp]

## nano tech 2025

第24回国際ナノテクノロジー総合展・技術会議  
nano tech 2025 International Nanotechnology  
Exhibition & Conference

主催 nano tech 実行委員会  
 期日 2025年1月29日(水)~31日(金)  
 会場 東京国際展示場(東京ビッグサイト)東4・5ホール  
 ホームページ <https://www.nanotechexpo.jp/>  
 連絡先 105-8335 東京都港区芝3-23-1 セレスティン芝三井ビルディング nano tech 実行委員会 事務局 (株)JTBCコミュニケーションデザイン内  
 [電話: 03-5657-0760, E-mail: nanotech@jtbc.com.co.jp]

「分析化学」特集  
「拡がる!分析化学と溶液化学の境界」  
の論文募集

「分析化学」編集委員会

「分析化学」編集委員会は、溶液反応化学研究懇談会と共同で「拡がる!分析化学と溶液化学の境界」と題した特集を企画しました。

溶液化学は、分析化学だけでなく、物理化学、無機化学、有機化学など基礎的な化学、さらには材料科学や生命科学、地球科学に渡る異分野横断の学問分野です。溶液化学の研究は、電気化学や錯体化学はもちろんのこと、クラスターや化学反応を解明する分子科学やイオン液体や超臨界流体などの応用が期待されている工学的分野など、多くの分野と密接に関係してい

す。本特集号では、更なる拡がりをみせている溶液化学と分析化学の境界領域における最新の研究に関する論文の投稿をお待ちしています。詳細はホームページをご確認ください。

特集論文申込締切：2025年2月21日（金）

特集論文原稿締切：2025年4月18日（金）

## 「分析化学」年間特集「環」論文募集

「分析化学」編集委員会

「分析化学」では、2010年より「年間特集」を企画し、設定テーマに関連する論文を年間を通じて募集・掲載しています。2025年は「環」をテーマとすることと致しました。

本特集では「環」をキーワードとして、基礎・応用を含めた分析化学の“最新の知見”はもちろん、総合論文や分析化学総説といった形で現在の分析化学の“研究の背景”についても広く募集し、分析化学が担う役割を社会に向けて発信することを目的としています。本特集にかかわる論文はすべての論文種目で年間を通じてご投稿いただくことが可能で、審査を通過した論文は、単行の特集号を除く「分析化学」第74巻（2025年）合併号の冒頭に掲載する予定です。国内外、産学官を問わず、「環」にかかわる分析化学の研究・開発に従事されている多くの皆様方からの投稿をお待ちしておりますので、是非この機会をご活用ください。なお、詳細は「分析化学」誌の9号及びホームページをご参照ください。

特集論文原稿締切：2024年11月15日（金）（第2期）

## 初めて書く論文は母語の日本語で！ “第24回若手研究者の初論文特集” 募集のお知らせ

「分析化学」編集委員会

「分析化学」編集委員会では、2025年（第74巻）に第24回「若手研究者の初論文特集」を企画します。卒研究生、修士・博士課程院生並びに若手研究者の方々にとって、ご自分の研究成果を日本語で投稿できるよい機会です。なお、2019年より本特集を年間特集とし、都合の良いときに執筆して投稿できるようにしました。年間を通して論文原稿を受け付け、審査を経て掲載可になり次第随時掲載いたしますので、奮ってご投稿ください。

なお、詳細は「分析化学」誌HPをご参照ください。

## ぶんせき誌「技術紹介」の原稿募集

「ぶんせき」編集委員会

分析化学は種々の分野における基盤技術であり、科学や産業の発達・発展だけでなく、安全で豊かな生活の実現に分析機器が大きく貢献してきました。近年の分析機器の高性能化・高度化は目覚ましく、知識や経験がなくても、微量物質の量や特性を測定できるようになりました。この急速な発展は、各企業が持つ高度で多彩な技術やノウハウによって達成されたといっても過言ではありません。一方、高度化された分析機器の性能・機能を十分に発揮させるためには、既存の手法に代わる新規な分析手法が必要であり、高度な分析機器に適合した分析手法や前処理手法の開発が分析者にとって新たな課題となっています。また、分析目的に合致した高純度試薬の開発に加えて、測定環境の整備、試薬や水の取り扱いなどにも十分な配慮が必要です。極微量の試料を分析する際には、測定原理を把握すると

共に、手法や操作に関する知識・技能を身に付ける必要があると考えます。

このような背景に鑑み、『ぶんせき』誌では新たな記事として「技術紹介」を企画いたしました。分析機器の特徴や性能、機器開発に関わる技術、そしてその応用例などを紹介・周知することが分析機器の適正な活用、さらなる普及に繋がると考えており、これらに関する企業技術を論じた記事を掲載することといたしました。また、分析機器や分析手法の利用・応用における注意事項、前処理や操作上のコツなども盛り込んだ紹介記事を歓迎いたします。これらの記事を技術紹介集として、『ぶんせき』誌ホームページ内に蓄積することで、様々な分野における研究者や技術者に有用な情報を発信でき、分析化学の発展に貢献できるものと期待しております。分析機器や分析手法の開発・応用に従事されている多くの皆様方からのご投稿をお待ちしております。

記

1. 記事の題目：「技術紹介」
2. 対象：以下のような分析機器、分析手法に関する紹介・解説記事
  - 1) 分析機器の特徴や性能および機器開発に関わる技術、
  - 2) 分析手法の特徴および手法開発に関わる技術、
  - 3) 分析機器および分析手法の応用例、
  - 4) 分析に必要な試薬や水および雰囲気などに関する情報・解説、
  - 5) 前処理や試料の取扱い等に関する情報・解説・注意事項、
  - 6) その他、分析機器の性能を十分に引き出すために有用な情報など
3. 新規性：本記事の内容に関しては、新規性は一切問いません。新規の装置や技術である必要はなく、既存の装置や技術に関わるもので構いません。また、社会的要求が高いテーマや関連技術については、データや知見の追加などにより繰り返し紹介していただいても構いません。
4. お問い合わせ先：日本分析化学会『ぶんせき』編集委員会 [E-mail：bunseki@jsac.or.jp]